

基本情報

施設名	つくし保育園 上大岡
所在地	横浜市港南区大久保 1-8-4
電話番号	045-353-3030
評価年度	平成 28 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 28 年 11 月 1 日～ 平成 28 年 11 月 15 日	自己評価後、全体での討議・協議および共有。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 28 年 12 月 15 日 平成 28 年 12 月 16 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認及び園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行った。幼児の食事の観察を行い、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施した。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 28 年 10 月 17 日～ 平成 28 年 11 月 18 日	園より保護者配布。各自、評価機関へポスト投函。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 28 年 12 月 15 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。

株式会社 R-CORPORATION

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	つくし保育園 上大岡
経営主体(法人等)	社会福祉法人秀峰会
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒244-0801 横浜市港南区大久保 1-8-4
設立年月日	平成 27 年 4 月 1 日
評価実施期間	平成 28 年 10 月 ～ 29 年 3 月
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

総合評価

●つくし保育園上大岡の立地・概要

つくし保育園上大岡は、京浜急行線・横浜市営地下鉄ブルーライン上大岡駅から徒歩5分程度に位置しています。つくし保育園上大岡が位置する地域は、鎌倉街道と大岡川を中心に栄え、大久保橋を渡ると上大岡であり、大久保二丁目には地域の鎮守である青木神社が鎮座し、園舎の隣には神奈川県戦没者慰霊堂の附属会館が建立され、戦争体験を風化させず次世代に伝えるかながわ平和祈念館があります。また、隣駅には天平700年代に建立された横浜市最古の寺である弘明寺がある等、古くから栄えてきた地域です。

つくし保育上大岡は、平成27年に社会福祉法人秀峰会（以下、法人という）の保育事業の認可保育園として開園し、定員70名にて1歳～5歳児までの保育を行っています。独立した3階建ての園舎で、開放的な角地の空間に建ち、園舎前の道路は県立南高校に至る住宅街へのアクセス道となっており、交通量も多いですが、園玄関までの誘いを広く設け、自転車を一旦止められる場所を確保し、安全に配慮しています。園舎は3階建てで、1階、2階が保育室になっており、3階は会議室、備品収納室等に活用されています。東向きの玄関は上り口が広くとられ開放感があり、廊下右側（北側）に多目的トイレ、階段、エレベーターを設け、突き当たりが給食室となっています。廊下の左側手前から事務室、1歳、2歳児の保育室を設け、それぞれの保育室から共有できるトイレ、沐浴室が用意されています。給食室の横にエレベーターが設備され、2階の幼児保育室にできたての給食が届けられるようになっています。2階は広い大きな保育室を区切り3歳～5歳児が交流できるよう整備され、トイレは2つ用意されています。つくし保育園上大岡の子どもたちは、家庭的な温かい雰囲気の中でのびのび遊び、兄弟のように一緒に過ごし、温かい感性や思いやりを育んでいます。

●つくし保育園上大岡の保育の方針

「つくし保育園」は、「つくしのような強い生命力のある子どもの育成」をねらいとして名づけられ、真っすぐ空に伸びる強い生命力を持ち、様々な環境の中で逞しく成長する姿を表しています。つくし保育園では、大切な時期の乳・幼児の子どもたちがいろいろな体験を仲間と一緒に楽しみ、生きる力の基礎を育む保育を行っています。保育理念は、3つのキーワード、「自律」・「社会性」・「センスオブワンダー」で示され、「自律」とは、自分で生きて行く力を養う、「社会性」は、人と協調して生きる力を養う、「センスオブワンダー」は、美しさを感じる感性を育む、を掲げ、日々の保育に組み込み、実践しています。つくし保育園上大岡では、子どもたちにつくしの芽の時代から、3つの理念に沿った豊かな園生活を送ってほしいと願い、職員一同、保育にあたっています。

《優れている点》

1. 子どもの一人一人に寄り添う保育の実施

法人理念である「人間が主体である」を基に、つくし保育園上大岡では保育方針として、「受容された安全な環境の中で、主体的な活動を楽しみます」、「人に対する愛情や信頼感をもとに思いやりの心を育みます」、「子ども同士の遊びを通して生きる力を育みます」、「自然や文化に触れながら、豊かな感性を養い子どもの夢を育てます」、「保護者と話し合いながら共に考え、共に成長を見つめていきます」の5項目を掲げて推進しています。方針について毎月、1項目ずつ全職員でディスカッションを行い、保育方針の共有・理解につなげ、保育の実践に生かせる取り組みを行っています。『人間が主体、子ども一人一人の存在が大切である』ことを保育士が理解して保育にあたり、さらに、子ども自身が、「自分は大切にされている」と思える機会をたくさん提供したいと考えています。例えば、誕生会では、全園児の前でその子が誕生したことを祝い、一人一人の存在が大切であること、その子ども自身、友だちが相互に尊重し合い、大切な仲間であることを知る機会にしています。つくし保育園上大岡では、子ども一人一人を大切に育み、思いやりある保育を心がけて実践しています。

2. 地域の他保育園との連携

つくし保育園上大岡では、地域の子育て支援のために地域の他保育園等との連携に力を入れています。良好な関係構築の背景には、港南区こども家庭支援課のバックアップや、横浜市立大久保保育園のリーダーシップの援護等の面も大きいと思いますが、地域の民間保育園の連携・結束と協力関係がもう一つの大きな要因であると思います。港南区は地域の横の連携が非常によく図られており、「区」での大きな区切りではなく「上大岡駅周辺の保育園」というグループ化が成されている良い点があり、横の連携が図られていることにより港南区の活動と、関連保育園の“意欲”が相乗して全体に良い関係が生まれています。「上大岡駅周辺の保育園」に関して、つくし保育園上大岡も参画している“保育園にあそびにきませんか”なるパンフレットを年4回発行し、地域の保育園の紹介、園単位のイベントの紹介、地域のイベント紹介等を行い、活性化が図られています。また、つくし保育園上大岡独自でも、地域の小規模保育園（2歳児までの保育）の受け皿として3歳児の

受け入れ枠を設定したり、近所の小規模保育園（ラビット保育園、めぐみ保育園等）との個別での交流保育の実施や、大久保保育園、つくし保育園上大岡、ラビット保育園、めぐみ保育園、つばさ保育園と広範囲での交流保育を実施する等、地域の子育て支援に尽力しています。

《さらなる改善が求められる点》

1. 安全な給食の実施


つくし保育園上大岡の給食は、給食提供サービス事業者に委託しており、新園での体制作りが優先であったため、給食の委託事業者とのコミュニケーションが不足していた点と共に、食育の取り組みの反省点が挙げられます。食育は、保育の1つの大きな柱であり、保育課程の「食を営む力の基礎」で取り上げられていることを踏まえ、保育の大きな項目であり、この面の強化が望まれます。今年度、園と給食室での定例会議を設定することを決め、食育年間計画書に基づいて協力体制で推進して行く予定としました。委託事業者側の考える食育と職員の理解との差異や、職員の意向がきちんと伝わるよう、よりコミュニケーションを深め、子どもの成長に大切な食育にさらに力を入れ、協力体制での推進が図られていくことを期待しています。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

つくし保育園上大岡	
評価年度	28年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●法人の理念に、「自立性」、「社会性」、「センスオブジェンダー」の3項目があり、理念に沿い、保育に対して“感性”が持てるよう職員に指導しています。理念、方針は、「羅針盤」として名刺サイズに印刷し、各職員は常に携帯し、毎朝礼で理念の読み合わせを行い、確認しています。また、理念や方針についてクラスごとに話し合う機会を持ち、共通認識を図っています。さらに、法人の事業部会議に事業部長、法人系列園園長、主任が出席し、理念に沿って細分化および展開を検討し、実践につなげています。つくし保育園上大岡では、理念を基に、園独自の「想い」の具現化に向けて取り組んでいます。 ●法人の理念、家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮した保育課程を策定しています。保育課程には、長時間保育への配慮を追記し、日々の保育では遊具の選定や補食等、随時対応できるよう配慮する等、子どもが安定して過ごせるよう取り組んでいます。保育課程は基本的に大きく変更することはありませんが、年度末に全職員で振り返りを行い、次年度につなげています。保護者に対しては、入園説明会等で重要事項説明書(入園のしおり)で保育課程の骨子について説明しています。 ●保育課程に基づき、年齢ごとに年間指導計画を作成しています。1歳、2歳児は個々の発達に沿って個人指導計画を作成し、クラス会議を通して保育活動や状況把握を行い、職員間で共有を図り、子どもの自主性や生きる力を育む環境作りをしています。保育課程について、理解できる子どもには、指導計画を具体的に解りやすく説明し、週案レベルで子どもの意向を取り入れ、自主性や主体性を尊重しています。子ども一人一人の成長発達につい

	<p>ては、月案で振り返り、複数担当の場合は会議の中で共有し、主任が確認しています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●入園に先立ち、入園前面接を園長、クラス担任で実施し、事前に配付した書類を提出してもらい、書類を基に個人面接を行い、児童票および、必要に応じて発達記録に記入し、得た情報は全職員で共有し、日々の保育に活かしています。成育歴・緊急連絡・勤務状況等の書類は、個別にファイルにし、職員がいつでも閲覧できるようにしています。 ●つくし保育園上大岡では、新入児受け入れのみならず、子ども・保護者の不安を排除できるよう、短縮保育（慣らし保育）を実施し、期間・時間は保護者と相談しながら決めています。1歳児の新入園児に対しては、当初の担当保育士を決めています。 ●在園児の配慮では、特に2歳、3歳児はできるだけ保育士1名の持ち上がりができるよう努めています。保護者への連絡は、3歳児未満は連絡帳を活用して連絡を密にし、3歳児以上はホワイトボードに1日の活動状況を掲示してお知らせし、降園時にも口頭で子どもの様子を伝えるようにしています。 ●年間・月案・週案は、保育課程に基づいて各クラス担任が作成し、職員会議で反省および評価を行っています。1歳、2歳児は一人一人の発達に応じて個別の月案計画を作成しています。保護者からの意向・要望については、個人面談や保護者懇談会で意見を取り入れ、英語教室や体操の希望を受け、実施しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設環境について、マニュアルを整え、マニュアルに沿って毎日、各保育室の清掃、玩具の消毒を行い、週1回、安全チェックリストにより点検を実施しています。園舎内は24時自動換気システムとなっており、定期的に窓を開けて自然換気にも配慮しています。室温調節については、各保育室に温湿度計、加湿器を設備し、エアコンで保育室の室温調整を行い、湿度、乾燥に留意し、工夫しながら湿度60～70%を保ち、室内環境に配慮しています。保育室は南向きであり、西側にも窓が設けられ、陽光を取り入れ、明るさを十分確保しています。音に関する環境については、近隣に配慮しつつも、立地的に音に関しては周囲の環境に恵まれています。 ●つくし保育園上大岡は0歳児の保育は設けていないので、温水シャワーを1階、2階にそれぞれに設備しています。園舎内は自動換気システムが施されており、臭気に配慮され、チェック表を活用して清掃・消毒を実施しています。 ●1歳、2歳児の保育室では活動に合わせて空間作りや、コーナーを作り、小集団保育が行えるよう工夫しています。寝食の空間

	<p>を分け、午睡ではコット（簡易ベッド）を活用しています。異年齢での交流は、朝夕、土曜日に合同保育を行い、散歩や、季節の行事、誕生会等で交流を行う機会を設定しています。</p>
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●3歳児未満および、配慮が必要な子どもについては、個別指導計画を策定しています。特に、配慮が必要な子どもについては、保護者との連携を密に行い、要望や意見を聞き、情報共有を図り、週案で変更、見直しを行っています。個別指導計画の見直しの重要部分については、保護者に説明し、同意を得ています。 ●子どもの記録としては、定めた書式（児童票、個人記録（成長発達記録）、健康調査票、身体測定表）に記録し、記録内容は書庫に保管し、全職員が閲覧できるようにしています。状況・要望については、指導計画、週案の振り返りに記録し、家庭状況、要望等は児童票に記録しています。重要な申し送り事項は記録し、進級時等に新担任に申し送りをしています。保育所児童保育要録は作成し、就学先の小学校に送付しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●つくし保育園上大岡では、積極的に配慮を必要とする子どもの受け入れに努め、職員の技術向上のために外部研修を受講して研鑽しています。配慮を必要とする子どもについては、個別のケースについてクラス代表、主任、園長が出席する昼礼で情報を共有し、記録を残しています。最新の情報は職員間で学習し、情報の共有を図り、実際の保育に生かすようにしています。 ●障害児保育のための環境整備では、建物はバリアフリー対応を整え、門から玄関まではスロープになっており、玄関入口、1階のトイレ、階段には手すりを設備し、障害児保育のための環境を整えています。専門機関との連携では、よこはま港南地域療育センター、港南区の保健師、児童相談所、医療機関等に相談、助言や情報が得られる体制があります。園では、日常的に他の子どもとのかかわりを持つよう配慮し、「待つ」、「見守る」保育を心がけています。 ●虐待の定義については、マニュアルを整備し、全職員に周知しています。園では1日に1回、視診を行い、保護者の生活環境の変化を把握し、日々、子どもの様子に注意を払うよう努め、関係機関に相談できる体制を整えています。また、保護者とのコミュニケーションを多く持つよう心がけています。 ●アレルギー疾患のある子どもの除去食対応では、医師の指示書に従って適切な対応を行っています。職員に対して、アレルギー疾患についての必要な知識や情報について周知し、会議等で徹底するようにしています。アレルギー児を持つ保護者と連携を密にし、除去食を提供しています。給食時は、専用トレイ、別食器、

	<p>除去内容を記載し、コンタミネーションが起こらないよう、チェック体制を強化しています。また、調理担当者と保育士との口頭での確認の工夫も進めています。</p> <p>●文化が異なる子どもへの対応については、園では外国籍の子どもは1歳児クラスに1名が在籍していますが現在、問題なく対応できています。園では、文化や生活習慣、考え方の違いを尊重し、子どもたちに世界の絵本等から伝え、給食にも他国の料理を取り入れる等、他国の文化に触れる機会を持っています。また、給食だよりも、世界各国の料理や日本郷土料理の献立を紹介するなど、工夫しています。外国籍に係わる保護者について、意思疎通が困難な場合は、同じ出身の日本語が堪能な保護者の仲立ちにより説明を行うことを考えています。</p>
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<p>●保護者からの苦情などに関して、重要事項説明書に苦情・相談の窓口担当者、第三者委員の連絡先、本社相談窓口フリーダイヤル、港南区役所相談窓口を明示し、解決責任者は園長とし、玄関に苦情申し立てのフローチャートも掲示して案内しています。また、要望や意見等を聞く機会として、行事後や年度末（CSアンケート）に保護者へアンケートを実施し、利用者満足に取り組んでいます。</p> <p>●苦情・要望があった場合は、朝礼で職員に伝え、業務日誌に記録し、出席できなかった職員も確認できるよう共有化を図っています。苦情については、クレームシートを活用して記録を残し、保管および、蓄積し、活用できるようにしています。</p>

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<p>●玩具、絵本等は、子どもが取り出しやすい高さの棚に設定し、種類別に写真を貼って表示し、子どもが片づけやすいように工夫しています。絵本は、法人本部で年1回まとめて購入し、遊具は法人保育事業部、職員の意見に沿って各年齢や発達に応じた遊具を用意しています。保育室には「お人形のコーナー」も設け、子どもが自由に遊びを選択できるようにしています。幼児の保育室では、じゅうたんを敷いて遊べる区画を設け、パズルなどを用意しています。低年齢児クラスは床暖房を設備し、床に座って思い思いに遊んでいますが、小さな玩具は置かないように注意しています。</p> <p>●つくし保育園上大岡では子どもの自由発想の遊びを複数用意し、集団活動として取り入れ、朝夕の合同保育時間は遊びを自由</p>

に展開しています。保育士はおままごとをしている子どもに声をかける等、遊びの援助をしています。一斉保育では、発達に合わせてルールのある遊びを取り入れ、幼児は鬼ごっこ等、公園でルールを決めて遊んでいます。

●栽培活動では、4歳、5歳児は園庭のプランターで夏野菜（オクラ、ナス、きゅうり、ミニトマト等）を育て、水やりや成長の観察を通して収穫の喜びを体験し、収穫した野菜は給食で摂る等、食育につなげています。また、野菜でスタンプを作って制作をしたり、野菜の名前を図鑑で調べる等、保育に生かしています。動物の飼育ではカブト虫を飼育して成長を観察し、近隣の大岡川では大小の鯉などを見て関心を深めています。散歩時では地域の方と行き交う際は、保育士が率先して挨拶するようにしています。

●子どもの年齢や発達状況にあわせた表現が自由にできるよう、幼児ラスは各自お道具箱を保有し、粘土はまとめて保管し、画用紙、色紙等の素材を置き、自由に自分の気持を表現できるようにしています。また、「朝の会」ではキーボードを使用して季節の歌を皆で歌い、リズム活動ではキーボードやCDを流して体で表現し、日々の活動や楽器演奏の積み重ねを、生活発表会につなげています。5歳児では「つくしクラブ」を設定し、法人保育事業部長を中心に、「不思議に気付く」活動を進めています。「つくしクラブ」では磁石の不思議、石の不思議、地球・月・太陽の大きさ等の話を通して、子どもたちが自分の意見を言ったり、他人の意見を聞く機会を作っています。

●子ども同士のケンカについては、保育士はケガにつながらないよう見守り、自分の意見を言い、周りの意見も取り入れて子ども同士で解決ができるよう、必要に応じて助言する等、援助しています。異年齢同士のかかわりについては、主に朝夕の合同保育、土曜保育で行っています。保育士は、保育園基本マニュアル、実践マニュアルの読み合わせを行い、子どもに対して常に公平で温かく接するようにしています。また、きれいな日本語の言葉遣いを心がけ、名前呼び捨てはしないようにしています。

●健康増進の工夫では、天気の良い日には近隣の公園に散歩に出かけ、園庭ではかけっこや、ボール遊び、縄跳び等して遊び、年齢や発達に応じて体力作りをしています。雨の日は室内で巧技台、平均台、鉄棒を取り入れ、運動能力を高める遊びを行っています。子どもの健康状態は、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、室内遊びや安静に過ごせるようにしています。戸外遊びの紫外線対策では、園庭では日除け

	<p>を設置し、たれ付き帽子を着用し、紫外線アレルギーを持つ児には長そでシャツを着用するなど配慮しています。また、虫除け対策では、園手作りのハッカの虫除けスプレーで対応しています。</p>
<p>II-1 保育内容 [生活]</p> 	<p>●食事について、楽しく食事をするを大切に、少食の子もは量を調整して完食の喜びを味わえるようにしています。偏食がある場合は無理強いせず、頑張って食べられた時は褒めるようにして自信につなげています。離乳食は現在、後期食に対応し、子どもが食べようとする意欲を大事にし、言葉かけを行いながら子ども自身で完食できるように促しています。1歳児保育室からは厨房が見え、食事ができる匂いが届き、食への関心と意欲につながっています。</p> <p>●献立は、給食委託業者が作成し、メニューに季節感を取り入れ、食材は安全な国産品を使用して提供し、地方の郷土料理（県別）や、外国の料理（イタリア、中国等）なども取り入れ、子どもが食に興味を持ち、食への意欲が持てるよう工夫しています。例えば、七夕には星形の人参を散りばめて見た目にも楽しんだり、オムライスではケチャップで顔を描いて興味と食への意欲につなげています。また、食事のテーブルは皆の顔が見られるよう配置し、食事が楽しくできるよう工夫しています。食器は強化磁器を使用し、食器、食具は乳児用、幼児用に種類を備え、1歳～2歳児にはスプーンですくいやすい器を採用しています。</p> <p>●献立の好き嫌いは食事の残量で確認し、毎月、給食会議を開催し、給食委託業者を交え、栄養士、調理師が参加して話し合い、喫食状況や味付け、食材の切り方等、調理方法や味付けの改善に努めています。取り組みでは、食材の実物に見て触れて、食への興味・関心を促して給食で提供してみる等、子どもたちの様子を確認しています。</p> <p>●献立表は毎月、保護者に配付し、アレルギー児を持つ保護者へは除去食を明記した献立表を配付しています。また、給食だよりは給食委託業者が作成し、毎月、保護者に配付しています。給食の試食については、園行事の夏祭りの際に試食会を実施し、手作りの米粉パンを提供し、翌年度は春先にクラス単位で給食を子どもたちと一緒に食べる機会を考えています。</p> <p>●午睡時は、寝食を別にし、採光に配慮して睡眠環境を整え、落ち着いて心地良く眠れるようにしています。寝付けない子どもは、体を休めることが目的なので無理強いをせず、静かに横になったり、他の子どもの睡眠を妨げないよう静かに遊ぶようにしています。SIDSの予防では、1歳～2歳児は10分ごとにブレスチェックを行い、うつ伏せになっていた場合は、直ぐに仰向けに寝</p>

	<p>かせ直し、チェック表に赤で○印を付けて確認を行っています。</p> <p>5歳児は就学に向けて、年明け頃から徐々に午睡の時間を減らすようにしています。</p> <p>●トイレトレーニングについては、保護者と連携を図り、無理強いはせずに子ども一人一人のペースに合わせて進めています。園では、トイレ環境に慣れるよう1歳児からトイレに座る練習から始めています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮し、さりげない対応に努め、シャワーを活用して気持ち良く過ごせるように配慮しています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>●健康管理では、健康管理に関するマニュアルを整え、入園時の児童票の情報を「児童健康台帳」に記載し、全職員で子どもの既往症を把握し、保護者と密に連携を図るようにしています。日常の子どもの健康状態は、登園時に保護者から口頭および、連絡帳で子どもの健康状態を確認し、視診を行っています。また、「生活一覧表」に家庭と園との伝言等を記載し、職員間で引き継ぎ・申し送りを行っています。保育士は常に子どもの様子を観察し、緊急時は速やかに保護者に連絡し、通院が必要な場合は許可を得て保育士が対応しています。歯磨きについては、2歳児以上に食後の歯磨き指導を実施し、仕上げは保育士が行っています。</p> <p>●内科健診、歯科検診を定期的実施し、健診結果は児童健康台帳に記録し、結果は文章にして保護者に伝えています。健診において医師から所見がある場合は、保護者に受診を促しています。嘱託医とは連携を図り、感染症の流行情報等を得、情報は周知しています。</p> <p>●感染症等について、感染症に関するマニュアルを備え、登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応は、重要事項説明書（入園のしおり）に記載し、保護者へは入園時に配布し、説明しています。また、重要事項説明書の中に、登園許可書（登園届）が必要な感染症についても明記し、入園前面談で伝えています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡して早期のお迎えをお願いし、事務室で隔離対応しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に注意し、注意喚起の掲示をしています。地域、最新の感染症情報は、行政や地域、嘱託医等から入手し、職員にも情報を周知しています。</p>

<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理は、「保育園実践マニュアル」の健康・衛生の項目に明記され、マニュアルは、定期的に法人で見直しを行い、系列園一斉通達にて差し替え、確認しています。マニュアルは、各クラス、事務室に常設し、昼礼や職員会議でも確認しています。清掃は、チェックリストに沿って当番表により保育士が実施し、衛生・清掃に努めています。また、手洗い、嘔吐物処理について手順書・処理方法を掲示しています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>●安全管理では、「保育園危機管理マニュアル」を整備し、マニュアルに見直しがあった際は、速やかに昼礼、職員会議で周知を図っています。園舎内の家具、備品等は転倒防止を行い、安全に十分配慮しています。緊急連絡体制では、保護者に対しては一斉メールの制度を設け、全保護者に登録してもらい実施・確認をしています。職員は、AEDの使い方や、救急救命法の研修を受講し、警備保障会社からも園内研修で講習を受け、緊急時に備えています。</p> <p>●主任を中心に「安全委員会」を設置し、法人・系列全園でヒヤリハット、事故報告書の報告段階（レベル1～4）を定めて解決、改善を図れるよう法人内で共有を図り、系列全園でヒヤリハット等の検証を行う等、ヒヤリハットの取り組みに力を入れ、再発防止に努めています。事故報告に関しては安全委員会から職員会議で報告し、情報を共有しています。安全委員会では危険の予知に関する研修も行い、研鑽を図っています。保育園での事故やケガについて、保護者への連絡はケガの部位、軽重にかかわらず、十分説明を行い、速やかな対応に努め、記録しています。</p> <p>●外部からの侵入に対して、年1回、警備保障会社による不審者対応訓練を実施しています。建物は警備会社との契約により安全を確保し、玄関は電子錠で施錠し、保護者は専用カードキーを使用し、訪問者には必ずインターホンで確認してから開錠しています。不審者情報は、港南区役所、系列他園から入手して情報を得ています。</p>
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<p>●職員の言葉遣い、子どもとのかかわり方について、昼礼、職員会議等で話し合い、子どもの人権を尊重し、子どもに対して呼び捨てやあだ名を使用しないよう、声かけ、接し方を心がけています。職員は、子どもに強制したり急かしたりせず、穏やかな対応を心がけ、着替えの際は個々の自主性を見守り、子どものペースを尊重しています。また、子どもの人権を尊重し、罰を与えたり、皆の前で叱る行為をしないよう職員会議等で話し合い、全職員で共通認識を図っています。</p> <p>●子どもが友達や職員の視線を気にせず過ごせる場所として、1</p>

対1で話せるよう事務室を必要に応じて活用し、ラティス等を用いてプライバシーを守れる場所や、子どもが落ちつけるよう工夫し、普段あまり使わない部屋を活用するなど、工夫して配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、「個人情報保護規定」（法人で作成）があり、入職時に研修を受け、誓約書を提出しています。個人情報の管理・扱いについては、園内研修等で全職員に周知を図っています。ボランティアや実習生にも事前にオリエンテーションで守秘義務の意義・目的を説明して徹底を図っています。保護者に対しては、年度初めに個人情報の取り扱い（ホームページ上の肖像権等）の確認を行い、同意を得ています。個人情報が記載されている文書・記録は、施錠できる書庫に保管、管理しています。

●性差に関する配慮では、マニュアルの「男女共同参画社会に向けて」において、「性差への先入観による役割分業意識の排除」を規定し、職員に周知しています。全園児が平等に活動できるよう、園で使用する持ち物は男女共通で設定し、遊びや行事の役割、服装での区別、順番、グループ分けや整列も性別で区分けすることはせず、運動会や発表会での劇の役割等についても性別による区別は行っていません。子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現をしないよう努め、子どもとのかかわりで無意識に性差別につながった場合は、職員間で伝え合うようにしています。

II-4 保護者との交流・連携




●基本方針・保育目標は、園のしおり、パンフレット、ホームページに掲載して伝え、理念・保育目標については、園内に保護者の目の留まる場所に掲示し、保護者会の全体会や懇談会でも説明しています。また、園だより、連絡帳等を活用して伝え、理解を促しています。保護者アンケートは主な行事後に実施して意見を聞き、毎年、CS調査を行い、保育の基本方針等の理解度、保育の満足度を確認する機会を設けています。


●園生活での様子や活動内容は、乳児クラスは連絡帳を活用して伝え、口頭でも伝えるよう心がけ、幼児クラスでは、玄関に伝言板にて日々の活動の様子を保護者にお知らせしています。また、毎月、クラスだよりを配布し、園での生活、子どもの成長を伝えていきます。

●個人面談は年2回（6月、1月）、全保護者に実施し、面談内容は「個人面談記録」に残し、意向等を把握しています。必要に応じて、随時面談を受け付けています。保護者会は保護者が参加しやすい土曜日・日曜日に開催し、参加を促しています。

	<p>●保護者の相談、面談については、事務室、3階の部屋を利用し て行き、プライバシーを確保できるよう配慮しています。保護者 からの相談は基本的に担任が対応し、必要に応じて園長・主任か ら助言を受け、適切に対応できるよう体制を整えています。相談 内容は記録し、個人ファイルで管理しています。相談等ではメン タル面に配慮し、受ける側の態度に留意しています。行事時では 普段話す機会が少ない方に声かけを行うよう心掛けています。</p> <p>●園生活に関する情報は、園だより、クラスだより、保健だより、 給食だよりを発行し、その日の保育については連絡帳、伝言板で 知らせています。また、園での子どもの様子を写真に収め、給食 内容の写真と共にスライドショーで掲載する等、工夫をして保護 者に提供しています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年度初めに年間行事予定 表を配布し、大きな行事は保護者の休暇日を想定した土曜日の実 施を計画し、保護者が予定を立てやすいよう配慮しています。保 育参観は各クラスで行い、28年6月に実施した際は英語の時間 の参観を設定しています。保育参観や保護者会等に出席できなか った保護者に対しては、資料を渡してフォローしています。</p> <p>●保護者の自主的組織は現状、設けていませんが、保護者とは朝 夕の送迎時などに挨拶や声かけを行い、コミュニケーションを 図れるように努めています。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価領域 III 地域支援機能評価領域

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた 子育て支援サービスの提供</p> 	<p>●子育て支援サービスの提供では、港南区主催の地域子育て支援 活動「保育園にあそびにきませんか」の冊子に、園庭解放や地域 の親子に向けたイベントを記載し、参加を促しています。地域で は1歳児が入所できる保育園が少ないので、園では1歳児の需要 が多い状況です。地域団体との交流では、港南区の園長会議、幼 保小連絡会他、社会福祉法人中心の私立保育園協会の園長会議、 横浜市私立保育園園長会議、横浜市こども青少年保育教育運営課 等に参加し、情報を収集し、把握しています。施設に対する要望 は、園庭開放、園見学者の受け入れ、小規模園との連携を通して 把握するようにしています。</p> <p>●地域の子育て支援ニーズは、交流保育、一時保育、園庭開放、 育児講座を通して子育てのニーズを把握しています。また、港南 区認可保育園園長会での乳児・幼児クラスの交流保育などに参加 し、地域の子育て支援ニーズを把握するよう努めています。園で</p>


	<p>は、園庭開放の参加者をお誕生日会への参加の促し等について検討しています。育児講座はホームページでお知らせし、子育て支援センターや港南区役所にポスターを掲載して周知し、今年度はクッキング講座や、羽子板作り講座を実施しました。</p>
<p>Ⅲー2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民に対する園の情報提供、育児相談は、「保育園にあそびにきませんか」の冊子に園の予定を記載し、玄関にも設置しています。また、港南区の子育て情報サイト、広報よこはま港南区版等に掲載して情報提供しています。相談事業については港南区の広報誌や、ホームページに子育て相談の案内、園の紹介を掲載し、育児相談に応じる旨を発信し、育児相談を受ける際は、離乳食の相談が多い状況ですが、今後、定期的（相談曜日・時間）な活動が望まれます ●関係機関・団体等の連絡先リストを作成し、事務室に掲示し、職員で共有しています。関係機関（港南区こども家庭支援課・よこはま港南地域療育センター、南部・中央児童相談所、港南区の保健師・ケースワーカー・近隣小学校・警察等）との担当は園長とし、港南区のケースワーカー経由でよこはま港南地域療育センターとは日常的に連携を図っています。

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IVー1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域への園の理解促進のための取り組みとして、行事の際は事前に近隣に挨拶を行い、行事に招待しています。子育て支援センターを通して、子育て親子に園の案内を配布し、敬老の日には同建物のデイサービスセンターの高齢者の方々を招待し、園の取り組みや子どもの様子を見てもらう機会を設けています。また、地域の町内会のお祭りや、避難訓練に参加し、年始の賀詞交歓会には園長、職員が参加して交流を図っています。5歳児は品濃小学校1年生と年4～5回交流を行い、小学校見学や公園で遊ぶ機会を定期的に設けて就学につなげています。近隣の方とは、プール開放時等、交流の機会により友好的な関係を築くよう努めています。 ●子どもと地域との交流では、地域の文化施設（横浜防災センター、地区センター、子育て支援センター、公園等）を利用し、日常的に利用する近隣公園では、周辺の保育施設の園児たちや地域の方々と挨拶し、交流を図っています。また、小学校の運動会に参加し、交流を図り、5歳児は近隣の他園との活動で交流を図っています。

<p>IV-2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、パンフレットやホームページ、広報誌に掲載して情報提供をし、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」にも情報を提供しています。見学者や来園者には保育内容を記載したパンフレットを配付して説明し、職員体制・サービス内容の詳細、料金についてはホームページでお知らせしています。 ●利用希望者からの電話問い合わせ等は、園長または事務職員が担当し、丁寧に対応しています。利用希望者には園見学を案内し、見学可能日は港南区のホームページで案内していますが、見学者の都合に合わせて柔軟に対応しています。園見学者には園内を見学してもらいパンフレット、資料を基に説明しています。
<p>IV-3 ボランティア・ 実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの受け入れマニュアルを整え、職員に周知しています。ボランティアの受け入れ実績では、中学生、高校生のボランティアを受け入れており、受け入れ担当は園長とし、受け入れ時にマニュアルに沿って園の基本方針や利用者への配慮を説明し、守秘義務等について伝え、理解を促しています。ボランティアの受け入れでは記録を残し、感想や意見を提出してもらい、運営の参考にしています。 ●実習生の受け入れでは、実習生の受け入れマニュアルがあり、受け入れ担当は園長とし、事前にオリエンテーションで基本方針、活動内容、利用者への配慮、留意事項を十分説明して理解を促しています。実習では、実習生本人の希望を聞いて実習プログラムを作成し、効果的な実習を進め、毎日、昼には反省会を行い、実習終了日には意見を聞き、園の運営の参考にしています。


評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な人材の採用については、法人本部で法人のポリシーに基づいて採用計画が策定され、計画的に人材育成を行うシステムが構築されています。採用に関しては、法人本部での園長会議で必要な要員を話し合い、保育士の補充、人材を確保しています。つくし保育園上大岡では、28年6月までに採用面接に園長も同席して人材を確保し、今後は職員の育成に力を入れて行きます。新人職員には、自分自身の1年後を見据えた目標を掲げてもらい、既存の職員は上期、下期の目標を設定し、園長、主任と面接を行い、保育の振り返り、目標の達成状況を確認し、評価を行い、資質向上を図っています。人材育成については、法人主催の研修体制に沿って育成を図り、港南区役所が計画する研修にも参加を促

	<p>しています。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、法人本部の研修計画に基づいて実施し、園内研修は、基本的に職員会議の議題に組み入れ、外部研修の伝達研修を行い、他の職員に役立てています。非常勤職員は会議議事録・昼礼ノートなどを必ず読むようにし、別途、乳児・幼児クラスミーティングに参加して資質向上に努めています。外部研修については研修一覧表を作成し、職員の希望に沿った研修に参加を促し、受講した研修内容は法人の「改善委員会」で検討・見直しを図り、次期の研修に反映させています。研修参加に伴うシフトは主任が担当して配慮しています。</p> <p>●非常勤職員の配置や業務内容については、正規職員との組み合わせを考慮して決定し、業務マニュアルを閲覧できるようにし、必要な知識・情報を提供し、正規職員の指示の下、問題があればマニュアルを再確認し合い、保育を進めています。非常勤職員とのコミュニケーションについては、各クラスではクラスリーダーが図り、職員間のコミュニケーションは主任が配慮しています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>●法人の人材管理制度を基に、各職員は、法人独自の「保育所の自己評価」を実施し、公表しています。職員の技術指導については、外部から元公立保育園出身の園長から保育計画の指導（年2回）、保育技術等の指導を受け、職員の技術向上の研鑽を図っています。外部講師では英語、体操の専門講師が実地指導を含め、職員も指導を受けています。</p> <p>●職員の自己評価は、横浜市の評価表・ガイドラインに沿って実施し、年間保育計画に沿って振り返り、子どもの活動内容、結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程等を大切に行っています。自己評価は振り返りを行い、次に反映させています。</p> <p>●保育所の自己評価についても横浜市の評価表・ガイドラインに沿って実施し、結果は乳・幼児会議で話し合い、課題を把握し、保育に生かしています。また、保護者アンケートの実施では、意見を抽出し、反省会実施では、子どもに見合った取り組みかどうかを考えて行い、次年度に反映させています。さらに、遊びの取り組みでは、リズム遊びのプログラムを増やし、楽器等の補充も検討して進めています。今年度は第三者評価を受審し、改善に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<p>●人事考課の基準に、習熟度に応じて期待水準が定められ、それに応じて役割を役割分担表、行事担当表、リーダー（フロア、クラス）を決定し、可能な限り権限を委譲し、自主判断が困難で確認すべき事柄に関しては園長、主任の判断を仰いでいます。上期、</p>

	<p>下期には職員と面接を行い、個々の目標の達成進捗状況を把握し、意見交換を行っています。園の改善について、職員から意見・提案を職員会議で募っています。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------

評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の守るべき法・規範・倫理等は、心得マニュアルがあり、心得集を名刺サイズに羅針盤として携帯し、常に確認できるように、職員は守るべき倫理を遵守しています。経営、運営状況等の情報は、法人の決算報告書、横浜市役所へ提出する事業計画・事業報告で公表し、ホームページにも開示しています。リスクマネジメントでは、会議で他施設の事例等について検討し、検討会で検証し、職員は守るべき規範について再確認しています。 ●環境整備では、横浜市の3R夢(スリム)政策に賛同し、分別、ゴミの減量を心がけ、産業廃棄物事業者を利用し、園舎は省エネ設計(LED、トイレの自動点滅)になっています。緑化についてはプランターで植物の栽培を実施しています。保育では、空き箱や廃材を使用した活動を行う等、リサイクルの意識を培うよう努め、法人全体で環境への取り組みを強化しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園の理念・基本方針は明文化し、園内に掲示して保護者等が常に目に触れるようにしています。職員に対しては、理念等を事務室、職員休憩室に掲示し、毎朝、唱和を行い、法人会長の朝礼(テレビ配信)でも徹底して伝えられ、理念、方針が反映されるよう意識統一に努めています。また、法人事業部会議で系列園の園長・主任で保育方針、問題点、人事等についてディスカッションを行い、会議内容は職員会議で職員に周知し、保育課題の解決に取り組んでいます。 ●重要な意思決定については、保護者、職員に目的・決定(変更)理由、経過等を十分に説明しています。園では、行事や保護者会を通して意見を聞き、保護者とのコミュニケーションを図り、園の意図を理解してもらうよう努めています。また、系列園の園長会議、主任での安全委員会、看護師の会議等の「検討チーム」を設定し、園全体で取り組み、保育課題の解決に尽力しています。 ●主任は、法人が主催する主任育成研修を受講して研鑽を積み、保育の実務を担い、尽力しています。また、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、特に、新人職員に対しては個別に仕事の内容、シフト対応等、細やかな指導を行い、円滑な業務ができるよう取り組んでいます。

VI-3 効率的な運営



●保育事業の展開に関しては基本的に法人本部（保育事業部）ですが、運営に直接影響のある取り組みでは、若い保育士の育成・職員の質の向上が急務であり、園の運営を含めて課題として取り組んでいます。法人事業部会議では、園の運営費も含め、人材育成、職員の育成・サービスの質の向上を課題として検討し、目標を「質の向上」・「安全」を掲げ、会議での情報は職員会議で職員に周知し、改善課題がある場合は園全体で取り組んでいます。

●法人で中・長期的計画が策定され、計画に沿って園で事業計画、年間行事予定を策定しています。法人の今年度の課題は新園の設置と既存園の安定運営を掲げて取り組んでいます。平成 29 年 4 月には戸塚に新園を開園され、つくし保育園は 4 園となり、人材の確保・新人職員教育、育成、即戦力なる職員の異動等、次代を担う主任、主任候補の育成を図って行きます。外部の機関や専門家などのアドバイスでは、法人系列他園の園長、元公立保育園の園長、大学の有識者から指導、助言を受け、法人理事にも専門家が在籍し、適切なアドバイスを得て、より良い園運営に生かしています。

つくし保育園上大岡

■調査日程	観察調査	平成28年12月12日・12月13日
■保育観察	つくし保育園上大岡の子どもたちの生活、保育士とのかかわりについて、調査員2名で全クラスの視察、観察を行いました。生活の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も観察し、保育士のかかわり方、園児の様子観察を行いました。各年齢については1日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。	

■1歳～5歳の子どもの様子

クラス（年齢）	保育の様子・子どもの様子
0歳児	0歳児の保育はありません。
1歳児	1歳児の保育室は南側に面し、日当たりが良く、庭にも出やすく、外気を取り込み、子どもたちは快適に過ごしています。また、調理室に隣接しており、子どもたちは保育室から調理室の様子が見え、美味しそうな匂いも漂い、小さい頃から食への興味につながる工夫がされています。保育室は4角で静かな奥に配置され、子どもたちは落ち着いて生活ができています。日中はラティスや敷布などでコーナーを作って、一人一人が思い思いに遊べる環境作りがされ、子どもたちは気に入った玩具で安心した表情で遊んでいます。
2歳児	2歳児の保育室は、南側向きから陽光が入り、日当たりも良く、庭に出て遊びやすくなっている保育室です。また、部屋の中央が事務所とトイレになっており、保育室が区切られたように設計され、この配置を上手く利用して寝食の分離を行い、子どもも落ち着いて遊べる空間作りがされています。2歳児からトイレトレーニングを始めており、すぐトイレに行ける工夫により、保育士の声かけで子どもはトイレに座る習慣を覚え、慣れる環境作りに子どもも自然にトイレに行っています。午睡では保育士が10分ごとにブレスチェックを行っており、子どもたちは落ち着いた静かな空間で安心して眠っています。午睡後の自由時間はお着替えをして、思い思いにお気に入りの玩具で穏やかに遊んでいます。
3歳児	3歳児の保育室では、四角い部屋を机4つとラティスを活用してコーナーを作り、それぞれの遊びで楽しんでいます。机の上では制作や、ブロック、はめ絵等をして遊び、床には絨毯が敷かれており、安全な環境でレゴやままごと遊びをお友達と楽しく遊んでいました。3歳児は調査2日目にお散歩に出かけました。お散歩では、園舎前の道路は交通量が比較的多く、特に、道路に電柱があ

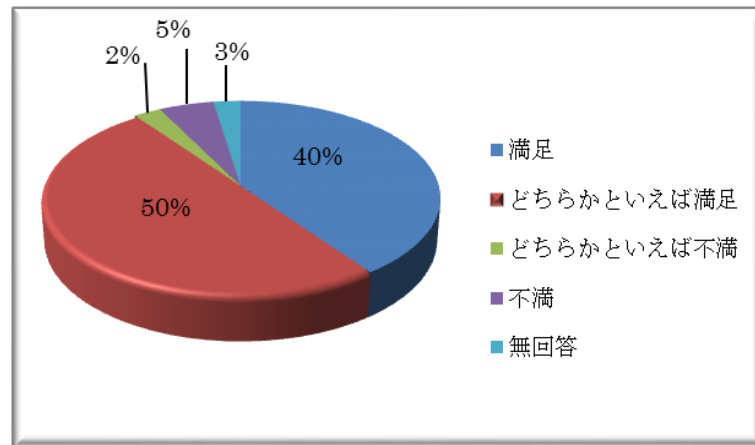
	<p>ると歩行者道路がないので道幅、車との距離に十分注意を払い、園長、保育士、事務職員が交通整理を行いながら、安全な道へと子どもたちを誘導し、最戸第2公園へ向かいました。お散歩では安全、ルールを学ぶ機会になり、子どもたちも保育士の指示を聞き、列も守っています。16時以降は合同保育になり、子どもたちは机の上でレールと機関車で遊んだり、ブロックをして静かにお迎えを待っていました。</p>
4歳児	<p>4歳児では、制作活動を観察しました。活動では、テーマを「木の模様を描く」ということを子どもたちに伝え、机の上に画用紙を置いて、絵の具をポタッと落としてストローで吹いて絵にするという創造性を高める活動が行われていました。モチーフとして木の幹がそれぞれの画用紙に貼ってあり、その木に葉や花を吹き絵で描いていました。保育士が絵の具を取り出し、筆で絵の具を画用紙に「ポタッ」と落として見せ、子どもにストローを渡して、「吹いて」と保育士が言うと、子どもは上手くストローがふけず、保育士がお手本でふいて見せると、子どもたちは「スゴイ!」、「伸びる～」と大喜びしていました。コツをつかんだ子どもたちはいろいろな絵の具の色を筆で垂らし、ストローでふいて楽しみながら作品を作り上げていました。調査日2日目には4歳児、5歳児と一緒に最戸第1公園に散歩に出かけ、公園では「だるまさんがころんだ」を皆で一緒に楽しく遊び、縄跳びや、長縄跳びを行い、公園内の滑り台で寒さに負けず、遊んでいました。園に戻り、お昼は4歳、5歳児と一緒に食事を行い、楽しくおしゃべりしながら食事時間を過ごし、午睡では体を使っていっぱい遊び、美味しく完食した後でぐっすり眠っていました。午睡後の自由遊びでは、一人遊びをする子どもや、友達と一緒に仲良く遊ぶ姿を見ることができました。</p>
5歳児	<p>5歳児の保育室は、2階の少し奥にある独立性のあるスペースにあり、5歳児は定員15名ですが現在、7人で仲良く園生活を送っています。午前中は、4歳児と一緒に最戸第1公園に行って遊びました。午後の活動ではサンタクロース作りの制作を行い、サンタクロースの頭、手、体、足のパーツを切り抜き、紙の上に形を並べて位置や動作を考え、子どもたちはいろいろな形を考えながら自分のサンタクロースを作っていました。保育士はそれぞれの子どもの独創性、主体性を尊重し、個々の子どもが自分で考えて作り上げるように見守っています。5歳児の保育室には就学に向けて、様々な教材等が用意され、色を混ぜ合わせると違う色ができるカード（青+黄=緑）、色の不思議や発見できる教材や、ひらがな、カタカナの表が貼られ、子どもたちは興味と意識が芽生えています。日本の全土を大きくした日本地図も貼ってあり、男の子が「青森の上に北海道がないよ」と言っていました。北海道は別の表になっており、日本の形を把握していることがわかり、常に貼ってある表が自然の学びとなっていました。</p>

【つくし保育園上大岡 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	28年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	つくし保育園上大岡利用者家族 配布世帯数（世帯数58）
有効回答数	40世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	69%

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
—	13世帯	8世帯	9世帯	6世帯	4世帯

*回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、「職員の対応について」での項目に高い『満足』を得られています。また、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、ほぼ満足という）見ると、「保育園の快適さや安全対策などについて」の項目が比較的高い平均値を示しています。『満足』が1番高い項目としては「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についてであり、満足は73%を得ており、どちらかといえば満足は23%、どちらかといえば不満5%ありますが、「ほぼ満足」（96%）でも高い満足を得ています。「給食の献立内容について」も満足63%を示し、どちらかといえば満足23%、どちらかといえば不満13%、不満3%にて、「ほぼ満足」でも96%の高い満足となっています。また、「お子さんが大切にされているかについて」では満足は60%を示しています。他、「お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気について」は、満足53%、どちらかといえば満足43%、どちらかといえば不満3%、その他3%で、「ほぼ満足」は96%を得ています。「園の行事の開催日や時間帯への配慮について」は、満足55%、どちらかといえば満足40%、どちらかといえば不満5%であり、ほぼ満足は95%を得ています。

●アンケート自由記述からは、保育士が愛情を持ち、子どもたちへの対応に満足している。保育士が大切に子どもたちのことを見てくれている。どの保育士も子どもの名前を覚えてくれているのでうれしい。保育士は明るく、子どもたちも楽しそうにしている。体を動かして遊ぶことも多く、子どもも楽しんでいる。子どもたちをしっかりと見てくれ、情報の交換もたくさんできて安心している。など、つくし保育園上大岡に通えて良かった、満足している、感謝しているという声を多くいただいています。また、園長の対応が園の良さにつながっている意見も挙がっています。

●『不満』および、満足の比較的低い項目では、「入園前の見学や説明等、園からの情報提供について」が、満足 18%、どちらかといえば満足 43%、どちらかといえば不満 28%、不満 3%、その他 10%となっており、新設という点も考慮されますが、全体の中では満足が低く、どちらかといえば不満、不満を合わせると（以下、「おおむね不満」という）31%を示しています。同様の理由で「ほぼ満足」が低い項目では「見学の受け入れについて」が 43%となっています。また、「年間の保育や行事についての説明」、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」について、おおむね不満が 23%と比較的高い%となっています。さらに、「園の保育目標・保育方針をご存知ですか」の設問について、よく知っている、では 13%、まあ知っている 40%、どちらともいえない 20%、あまり知らないでは 28%という結果になっています。園では、理念、保育方針をしっかりと掲げ、保育内容と連動して実施しているサービス提供について、利用者アンケートの結果を踏まえ、振り返りと共に、保護者への周知・理解の促し等について、一考を期待しています。

●アンケートの主な意見では、日中の子どもの様子についての伝達方法、情報提供の工夫についての意見や、1年間での保育士の入れ替わり等への不安、定着していくことへの期待等の声が挙がっています。また、保育士の標準化における接遇の面に関しても多々意見があり、一層の接遇への強化が望まれます。保護者は、保育士の温かい対応への感謝や、園への安心感・満足度を得ながらも、さらなる期待として意見が挙がっていますので、意見、要望等について受け止め、理解や協力につなげられるよう努力を期待いたします。園の良い点をさらに生かし、保護者のより満足・安心につながる保育の継続を期待しております。

●総合的に、『満足』は 40%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 50%、『どちらかといえば不満』3%、『不満』5%、『無回答』3%であり、サービスの提供について、90%『ほぼ満足』していると、捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

つくし保育園上大岡

【保育園の基本理念や基本方針について】

上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	13%	40%	20%	28%	0%	0%
		5	16	8	11	0	0
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	30%	18%	5%	0%	0%	48%
		12	7	2	0	0	19

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	23%	20%	8%	8%	43%	0%
		9	8	3	3	17	0
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	18%	43%	28%	3%	10%	0%
		7	17	11	1	4	0
5	園の目標や方針についての説明には	23%	45%	20%	0%	10%	3%
		9	18	8	0	4	1
6	入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	40%	45%	10%	0%	5%	0%
		16	18	4	0	2	0
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	25%	55%	8%	3%	10%	0%
		10	22	3	1	4	0
8	費用やきまりに関する説明については	30%	38%	23%	0%	10%	0%
		12	15	9	0	4	0

問 3 保育園に関する年間の計画について

9	年間の保育や行事についての説明は	28%	48%	18%	5%	3%	0%
		11	19	7	2	1	0
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	25%	53%	8%	3%	13%	0%
		10	21	3	1	5	0

問 4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	63%	33%	0%	3%	3%	0%
		25	13	0	1	1	0
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	55%	33%	10%	0%	3%	0%
		22	13	4	0	1	0
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に 使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	55%	35%	3%	3%	3%	3%
		22	14	1	1	1	1
14	自然に触れたり地域に係わるなどの、園外活動に ついては	43%	40%	10%	3%	3%	3%
		17	16	4	1	1	1
15	遊びを通じた友達との関わりや、保育士との関係に ついては	50%	40%	5%	0%	5%	0%
		20	16	2	0	2	0
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みに ついては	38%	45%	8%	0%	10%	0%
		15	18	3	0	4	0

「生活」について

17	給食の献立内容については	63%	23%	13%	3%	0%	0%
		25	9	5	1	0	0
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	58%	35%	3%	0%	5%	0%
		23	14	1	0	2	0
19	基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自 立に向けての取り組みについては	55%	33%	5%	0%	8%	0%
		22	13	2	0	3	0
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されて いるかなどについては	55%	30%	3%	5%	8%	0%
		22	12	1	2	3	0
21	おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合 わせて柔軟に進めているかについては	35%	30%	10%	5%	18%	3%
		14	12	4	2	7	1
22	お子さんの体調への気配りについては	53%	40%	5%	0%	3%	0%
		21	16	2	0	1	0
23	保育中にあったケガに関する保育者への説明やそ の後の対応には	55%	25%	5%	10%	3%	3%
		22	10	2	4	1	1

問 5 保育園の快適さや安全対策については

24	施設設備については	45%	45%	5%	3%	3%	0%
		18	18	2	1	1	0
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気については	53%	43%	3%	0%	3%	0%
		21	17	1	0	1	0

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
26	外部からの不審者侵入に対する備えについては	35%	53%	8%	0%	5%	0%
		14	21	3	0	2	0
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	45%	40%	10%	3%	3%	0%
		18	16	4	1	1	0

問6 園と保護者との連携・交流について

28	保護者懇談会や個別面談などについては話し合いの機会については	43%	48%	8%	3%	0%	0%
		17	19	3	1	0	0
29	園便りや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供については	48%	38%	10%	0%	5%	0%
		19	15	4	0	2	0
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55%	40%	5%	0%	0%	0%
		22	16	2	0	0	0
31	送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	33%	45%	13%	10%	0%	0%
		13	18	5	4	0	0
32	お子さんの重要な情報に連絡体制については	35%	45%	13%	5%	3%	0%
		14	18	5	2	1	0
33	保護者からの相談事への対応には	35%	43%	20%	3%	0%	0%
		14	17	8	1	0	0
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	48%	38%	3%	3%	8%	3%
		19	15	1	1	3	1

問7 職員の対応について

35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	60%	30%	5%	3%	3%	0%
		24	12	2	1	1	0
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	73%	23%	5%	0%	0%	0%
		29	9	2	0	0	0
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	40%	30%	0%	3%	25%	3%
		16	12	0	1	10	1
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	45%	43%	8%	5%	0%	0%
		18	17	3	2	0	0
39	意見や要望への対応については	40%	43%	10%	5%	3%	0%
		16	17	4	2	1	0

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	40%	50%	3%	5%	3%
		16	20	1	2	1

保護者アンケート調査結果 (設問別「満足度」 総合)

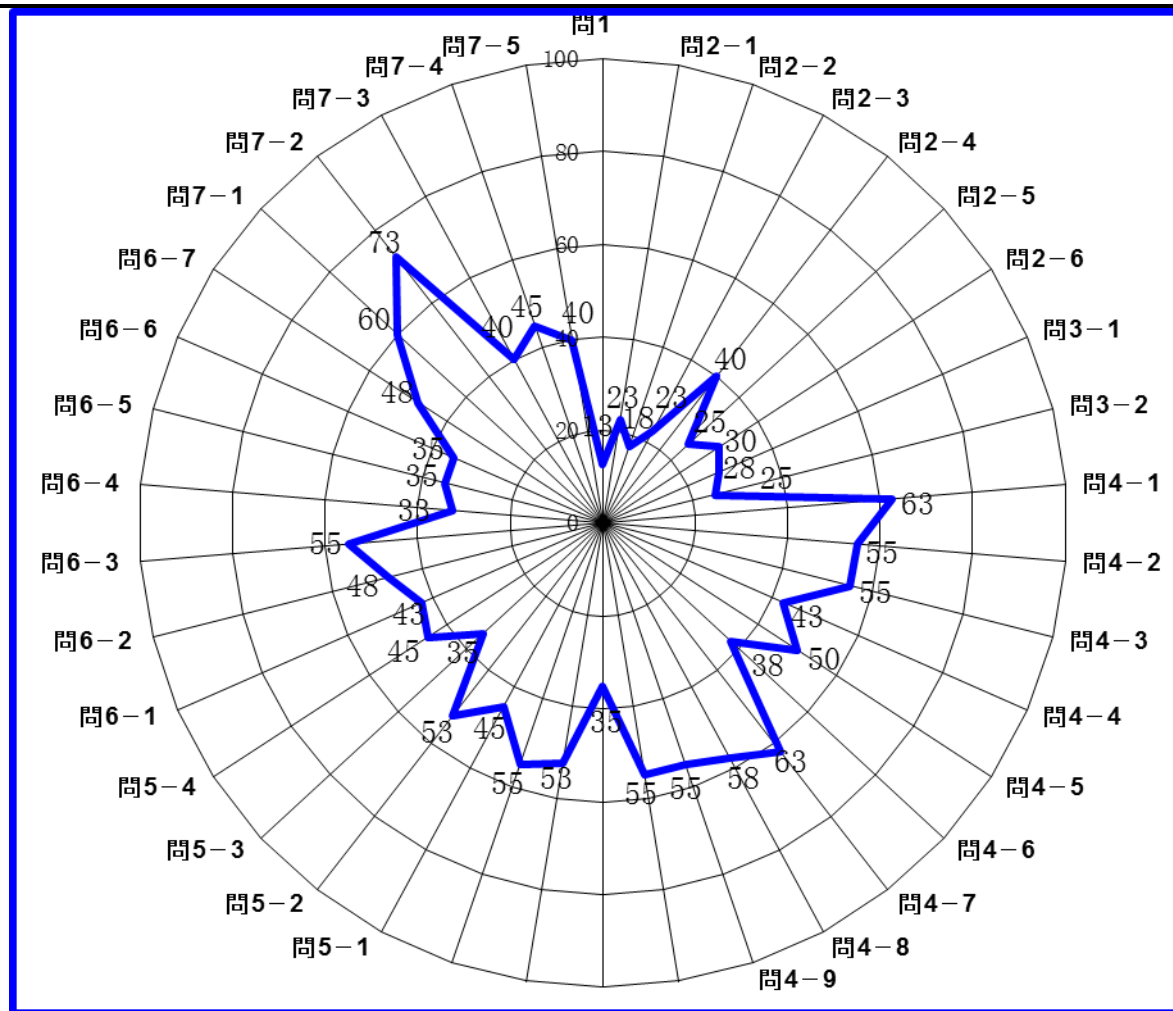
(注) レーダー数値は設問別「満足度」回答率 (小数点以下は四捨五入)

調査対象園舎: つくし保育園 上大岡 横浜市港南区大久保 1-8-4

回答世帯数: 58 世帯中 40 世帯 < 1 歳児 (13 世帯)、2 歳児 (8 世帯)、3 歳児 (9 世帯)、4 歳児 (6 世帯)、5 歳児 (4 世帯) >

定 員 : 70 名

調査期間: 2016/10/17 ~ 2016/12/13



事業者コメント

つくし保育園 上大岡

園長 田川 貞子

<評価に取り組んだ感想>

開園2年目であるため、研修（内部・外部）への取り組みが少なく、保育士に質の向上へ向け課題が多くあったが、日々運営の中での事例から問題解決に向け皆で話し合いを行い理解・共有に繋げられるようになった。

園の理念・方針について話し合い、職員全員の統一認識と出来るようになった。さらに保育計画に反映させ、日々の活動に取り組む姿勢が見られるようになった。

<評価後取り組んだこととして>

- ・新人スタッフの含め職員全員が笑顔で、子どもたちや保護者へ接する事、業務の引き継ぎの確実性・受け入れ時の確認徹底等、記載する書類や既存ファイルの理解と徹底に取り組み、記載漏れや報告忘れをなくす。
- ・各マニュアルの共有理解と周知徹底をさらに強めた。
- ・散歩マニュアルやマップの更新に取り組んでいる。